

コロナ感染



九月初めのことである。

夕食のテーブルで、夫は咳を繰り返した。慢性副鼻腔炎の咳払いには慣れているが、それにしても回数が多い。三豊の実家の草刈りに行っていたから、炎天下の作業で疲れたのだろうと考えた。

ところが翌朝、「熱がある」と起きてきた。悪い予感がした。「コロナかも知れん。調べてもらって」しばらくして届いたラインは「コロナ陽性でした」

昨日の咳は新型コロナウイルスの症状だったのだ。

先週、夫は所属する団体のイベントで、大阪から来た人達を車に乗せた。彼等も夫もマスクをしてなかったという。気管の弱い夫がその時に感染していたら、昨日発症しても不思議はない。

翌日、私にも倦怠感が出てきた。検査に行くと、「症状は？」「熱は三八・五度、頭痛と咳と関節痛があります。夫が陽性です。」

新型コロナが流行り始めて三年半。慎重に暮らしてきたつもりだ。まさか今頃になって感染するとは。

幸いのどの痛み以外の症状はすぐに治まり、日常生活に支障はない。唯一、仕事に行けないのが気にかかる。私の職場、介護の現場は慢性的な人手不足だ。仲間に迷惑をかける。

でも、気持ちを切り替えることにした。普段から、コロナに限らず休まなければならない人がいた時、少し無理をしても「おたがいさま」とカバーし合ってきた。今回は、私がお世話になろう。

こういう時、人の優しさを感じる。



小野みどり